

本日の内容

2025年 7月 24日
広域系統整備委員会
計画評価及び検証小委員会事務局

■ 本日、下表の内容についてご確認ください。

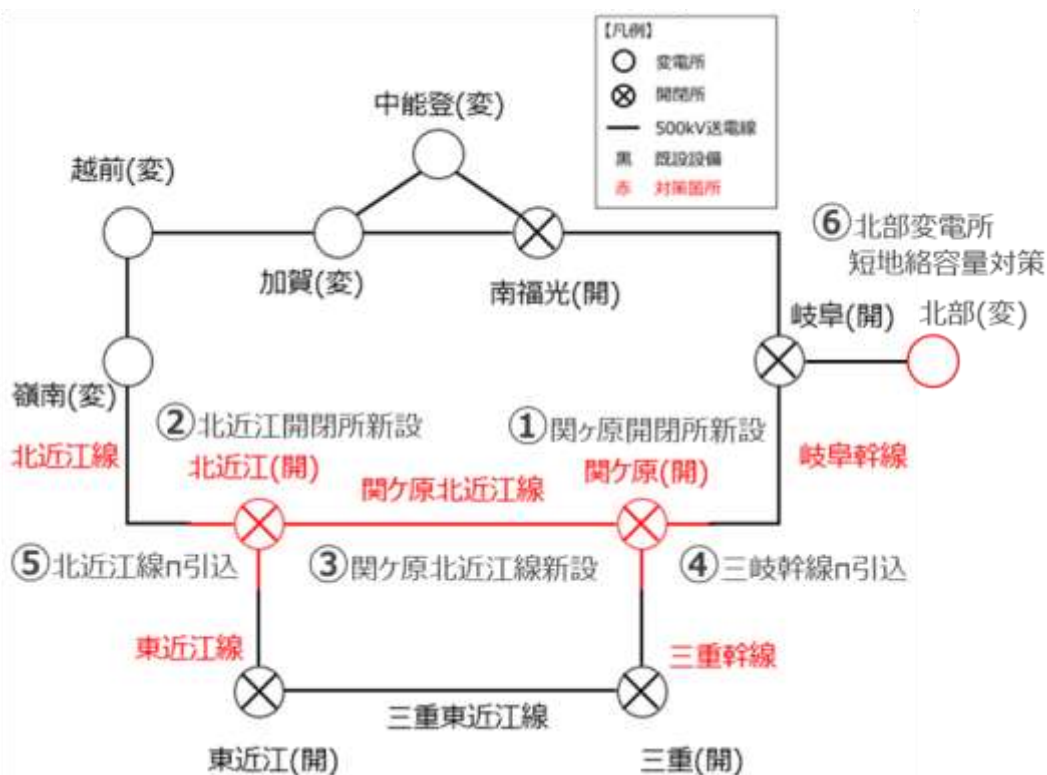
資料	資料の概要	確認のポイント
資料 2	「中部関西間連系線」 関ヶ原開閉所新設工事について（事務局）	・ 前回委員会にて中部PGから提案のあった「関ヶ原開閉所新設工事」の工事内容（工事費・工期）について、中部PGからの報告内容を踏まえた今後の対応の方向性についてご審議いただきたい。
資料 3-1	「東京中部間連系設備」 佐久間東幹線（山線）他増強工事の工期遅延について（事務局）	・ 第3回委員会において電発NWより、12ヶ月の工期遅延として下記の原因があるとの報告があった。 ・ 用地取得難航に伴う工事着手遅延 ・ 上記報告内容に対する事実確認結果及び事務局見解についてご審議いただきたい。
資料 3-2	「東京中部間連系設備」 佐久間東幹線（山線）他増強工事の検討状況について（電発NW）	・ 電発NWより用地取得難航箇所の協議状況及び検証小委での今後の審議に向けた検討スケジュールを報告いただくことから、その内容をご確認いただきたい。

■ 中部関西間連系線運用容量を300万kW程度（300万kW程度→600万kW程度）増強する。

◆費用の概算額：1,218億円
 工事費の概算額：590億円
 運転維持費の概算額：628億円

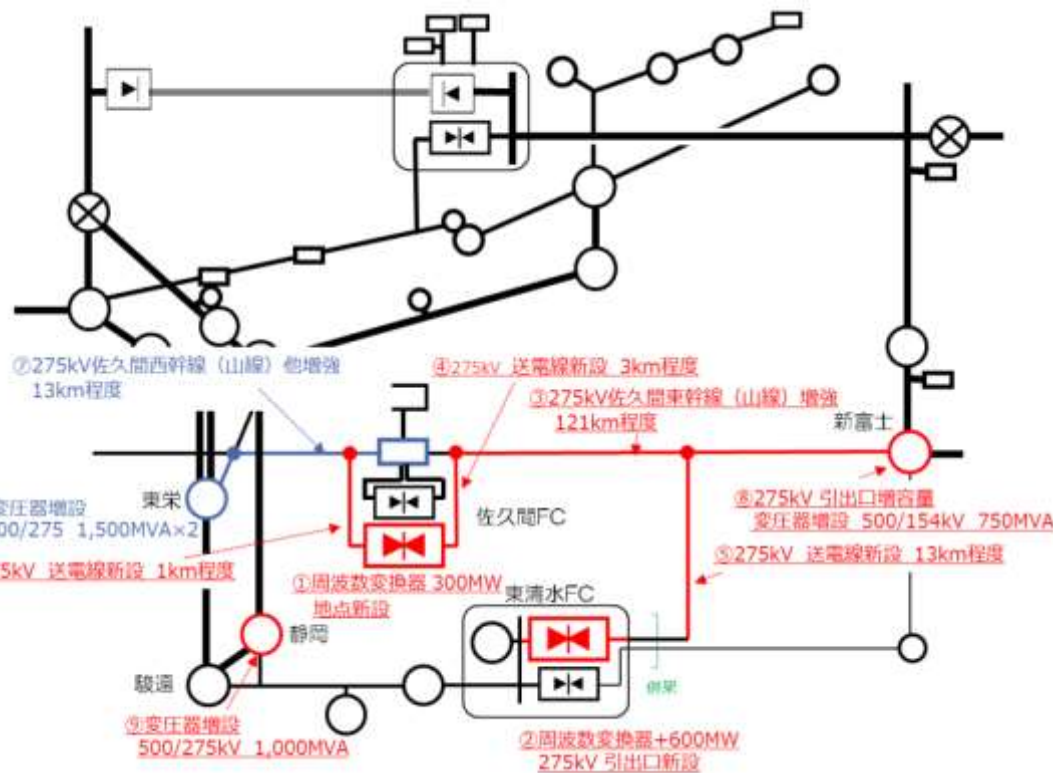
◆工事完了予定時期：2030年6月

◆事業実施主体：中部PG、関西送配電



個別工事件名	事業実施主体
① 関ヶ原開閉所新設	中部PG
② 北近江開閉所新設	関西送配電
③ 関ヶ原北近江線新設	中部PG
④ 三岐幹線n引込	中部PG
⑤ 北近江線n引込	関西送配電
⑥ 北部変電所短地絡容量対策	中部PG
— 電磁誘導対策	中部PG・関西送配電
— 給電システム改修	中部PG・関西送配電
— 通信設備	中部PG・関西送配電

東京中部間の連系設備を90万kW（210万kW→300万kW）増強する。



【凡例】

□	発電所	—	500kV送電線
○	変電所	—	275kV送電線
⊗	開閉所	—	154kV以下送電線
◀▶	交直変換所	—	直流送電線
⏏	周波数変換所	黒	既設・計画中設備
		赤	対策箇所
		青	関連地内系統整備

- ◆概算工事費：1,837億円
- ◆工事完了予定時期：2027年度末
- ◆事業実施主体：東京PG、中部PG、電発NW

個別工事件名	事業実施主体
① 佐久間周波数変換設備	電発NW
② 東清水周波数変換設備	中部PG
③ 275kV佐久間東幹線（山線）増強	電発NW
④ 275kV送電線新設（50Hz）	電発NW
⑤ 275kV東清水線新設	東京PG
⑥ 275kV送電線新設（60Hz）	電発NW
⑦ 275kV佐久間西幹線（山線）増強	電発NW
⑧ 新富士変電所増設	東電PG
⑨ 静岡変電所増設	中部PG
⑩ 東栄変電所増設	中部PG